

江戸川区学童少年軟式野球連盟 新型肺炎感染予防ガイドライン

1 参加意思の尊重

- ・選手及び保護者の意思を尊重し、チーム練習、大会参加を強要しない。
- ・不参加の意思を示した選手、家族の不利益になる対応を行わない。

2 感染予防対策の実施

- ・体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い選手の参加は見合わせる。
- ・次の項目に該当する選手、大人のベンチ入りは認めない。
 - 平熱でない／咳・鼻水・のど痛の症状がある／だるさ・息苦しさがある／嗅覚・味覚の異常がある
- ・選手登録時に、「健康チェックシート」を提出し、本部の承認を受ける。

・飛沫感染予防の観点で、ベンチ内ではマスクの着用を義務とする。プレー中の選手のマスクの着用を認める。ただし、マスクを着用する場合は、熱中症に十分留意すること。

- ・試合観戦において声援を行う場合は、マスクを着用すること。
- ・マスクの着用のため、ベンチからの指示、選手間の声掛けが聞こえにくいことが想定されるため、大きな音を伴う応援を禁止する。
(例: 鳴り物、メガホン使用した応援、応援歌など)
- ・可能な限り、選手間の間隔を手が届く範囲以上の距離を保つよう配慮すること。
- ・試合開始時、終了時の整列挨拶はベンチ前とする。試合終了挨拶後は、円陣などを行わず速やかに退場すること。
- ・審判員へのお茶出しは行わないこと。

3 感染が発生した場合の連絡

- ・チーム内に感染者が発生した場合、直ちに連盟に連絡を行う。

4 大会運営上の対策

- ・大会役員は、原則マスク着用とする。
- ・審判員は、熱中症予防のため、マスクを着用しない。
- ・ベンチ領域を通常の2倍程度確保し、ベンチ内での選手間の密集を緩和すること。
- ・新型コロナウイルス対策によるチーム事情によつての試合放棄について認める。
- ・定期的に本部席のアルコール消毒などを実施する。

参考資料: 全日本軟式野球連盟 感染予防対策ガイドライン (<http://jsbb.or.jp/news/8160>)